

農芸同窓会会報

更なる飛躍を

同窓会会長 大泉 源之
(河高第五回・昭和二十八年卒)



同窓会会員の皆様には
ご健勝で活躍のこ
ととお喜び申し上げま
す。平素は本会の活動
に対しまして格別のご
理解とご支援を賜り厚

ご挨拶



今年もいよいよ残り
僅かとなりましたが、
同窓会の皆様におかれ
ましては、ご健勝のこ
ととお喜び申し上げ
ます。

日頃は、本校の教育
活動に物心両面にわた
る心からのご支援を賜
り、厚く御礼申し上げ

校長 辻 修一

ます。

ご挨拶が遅れました
が、竹森淳二前校長の
転出に伴い、本年4月
から校長を拝命いたし
ました。県立高校の校
長職には、教員が就任
するのが通例ですが、
私は、県の行政職の出
身です。これまで県立
病院、情報、環境、人
事など様々な仕事に従
事してきましたが、教
育関係は、初めての経

インコンクールで、知
事賞、きもの作品コン
テストでは近畿経済産
業局長賞の受賞など多
方面にわたって最優秀
賞を受賞して頑張っ
ている報告を受けており
ます。

次にスポーツの分野
では各クラブのレベル
がアップし、今年県代
表として、東海大会に
ラグビー部、男子バス
ケット部、女子バレー
部が出場しました。

験です。私自身、この
たびの人事異動には、
いささか驚いておりま
すが、これも何かのご
縁かと思えます。教頭
先生をはじめとして、
教職員一同と力を合わ
せ、微力ながら精一杯、
本校の発展に尽くす所
存ですので、同窓会の
皆様方のお力添えを賜
りますよう、よろしく
お願いいたします。

さて、私が赴任して
早くも半年余りが過ぎ
ました。本校に赴任し
た第一印象は、生徒の
皆さんの元気でさわや

編集・発行
三重県立四日市農芸高校
同窓会事務局
〒510-0874
四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021
FAX 059-345-6996

最近新聞で四日市農
芸高校生の活躍の記事
を多く見られると思
います。その記事は学
面と活動実績も多いの
です。例えば菓子屋さ
んと共同開発して新商
品を売り出した件、き
もの作品コンテストで
優秀賞を受賞したこと
等もあります。地域
貢献活動が多く見ら
れるのが特徴ではない
でしょうか。

地元小学校児童に
クッキー作りの指導、
地元農家の方々の郷
土料理づくり、地域の
美化活動、内部地区に
協力したスイセンの植
え込み、定着してきた

かな挨拶と何事にも一
生懸命に打ち込む姿で
した。実習の授業では
目を輝かせながら熱心
に取り組む、放課後
はクラブ活動の大きな
掛け声が校長室に聞
えてきます。生徒の皆
さんが、活気あふれる
高校生活を送っていた
だいている何よりの証
明と嬉しく思っていま
す。

おかげさまで、農業
学科、家庭学科での学
習成果やクラブ活動で
の活躍にもそれが表わ
れており、詳細は別稿

みのりの丘マーケット
の開設等々多く記事と
して報道されていま
す。このことは生徒の
みなさんの生きた学習
の場として最適だと思
います。

次に、この紙面をお
借りし、報告したいと
思います。今年も本校
ラグビー部が花園へ出
場出来ると期待されて
戴いたでしょうが朝明
高校との決勝戦に敗
れ、残念な結果となり
ました。しかし七月の
第1回七人制県大会で
は同校に勝ち優勝し、
全国大会に出場してお
ります。来年に期待し、
又応援もよろしくお願

に譲りますが、様々な
分野で入賞、表彰など
の輝かしい実績を残し
ています。中でも、ラ
グビー部は、6月の第
一回全国高校7人制大
会の県大会で、栄えあ
る優勝に輝き、全国大
会出場を果たすという
快挙を成し遂げてくれ
ました。残念ながら、
先日の全国高校ラグ
ビー県予選の決勝では
惜敗しましたが、OB、
同窓生、地域の方々、
そして在校生が一丸と
なって、熱い声援を
送っていただきました。

また、先月の農芸祭
では、例年を上回る多
数のお客様をお迎えす
ることができ、大成功
のうちに幕を閉じまし
た。同窓生の皆様には、
ご来場、そして農産物
の販売など多大なるご
協力をいただきました
こと、重ねて御礼申し
上げます。

私自身、このような
活気に満ちた学校で仕
事ができることを本当
に心から感謝していま
す。今後ともよろしく
お願いいたします。



<昭和40年頃の農芸高校>



<平成20年頃の農芸高校>

喜寿と還暦

(高校第八回・昭和三十三年卒)

幹事一同

年齢を重ねる毎に、歳月の早さを感じる昨今、私達も、喜寿を迎えました。

恒例の同窓会も、今年には六月十日、十一日、四十三名の出席で湯の山温泉「希望荘」で開催致しました。

昨年より一年振りで再会の友、又何年振りかで、お元気な姿に接する事が出来た友、「ホッ」としたのと同時に、若かりし高校時代に限り、会話も弾み、卒業以来初めて校歌も全員で合唱し、カラオケや踊りで賑やかに、楽しい雰囲気の中で、今までの人生を振り返ることができました。

今年の幹事打ち合せ会は、五月十一日に行われ卒業して以来、六十年振りに元学校長の別府様の御配慮で訪れる事が出来ました。

西洋風の蔦の校舎、丘の上の寄宿舎兼家庭科のなつかしい校舎の姿も失く、すべて三階建ての校舎に変わり、唯一、坂道と昇降口に植えてあった「ソテツ」だけが残っていて、當時を思い出させてくれ

ました。学校内の敷地も広大になり高い丘上から見下ろす、風景も素晴らしく、この様な良い環境で、勉強に、運動に、実習にと学べる生徒達は、幸せだろうと痛感しました。：と同時に私達も当時の「高校時代」を忍ぶ事が出来、よい機会を与

えて頂き、よかったと感謝します。これから先、どんな人生が待っているかわかりませんが、残り少ない人生、健康に心掛け少しでも生き甲斐を見つけ乍ら、精いっぱい楽しく過ごして行こうと思っております。

来年も笑顔で皆様にお逢い出来ますように、この同窓会がいつまでも続くことを願っております。そして出席出来ますことを楽しみにしております。



仰げば尊し

(高校第十六回・昭和三十三年卒)

水谷 健三

昭和四十七年から九年間校長だった伊達敏宇先生が亡くなられました。師として三年間、教えを乞うた身として実に淋しい想いで、又、昨年、約五十年ぶりにお会いしたばかりで、茫然としています。私ごときの今回の投稿は、追悼の意味が一番ですが、自身が最終章の年齢になってきたことも理由です。が、文章をしたためると、昔の私の体験談を綴った拙文になってしまったことをお許し願います。先生の記憶といえ

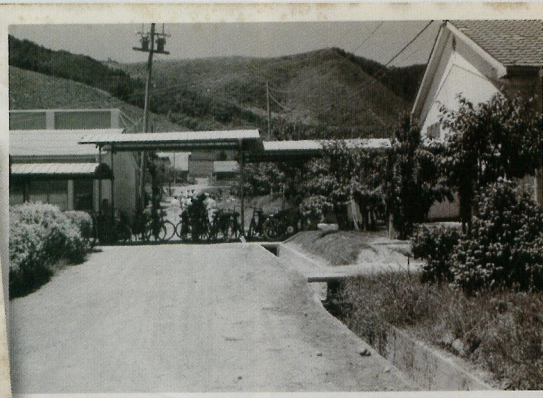
ば、まさに、高潔な人柄の印象が強く、八十年間誌を読んでも多大な功績を残されたことを知りました。先生の

実習で長い坂道を、リヤカーに堆肥を積んで山の上の畑まで、汗をかきながら上げる作業がありました。先生はいつも髪を綺麗に七三分に分け、実習の後でも涼しい顔をして校庭を歩いたり、授業をしてみえたのを覚えています。昨年の九月、会いたい旨を電話したところ快諾してもらい、応

接間で待っていると「あー、君か、よくここがわかったな」の声。姿勢もよく、かくしゃくたるものでした。早速、「あれはどうして、彼は元気か」の連発です。だんだんと雄弁になり時間が瞬く間に過ぎていきました。

先生の一日は、朝の散歩、ピアノ、パソコンでの絵書き、又、古今和歌集を読んだりとのことです。「君は今、何してる」遠大な志を抱き入学、卒業するも始めた農業経営が上手くいかず、一年未満で断念、公務員となり、定年退職。少欲・足るを知るを心に銘じて、今、現在に感謝しながら孫の世話や畑仕事の日々です。「そうか、仕事に立派に貢献して結構」、「農芸高校はどうやった」特に、思いに残るのは、先輩達と、渥美半島へ自転車で行き温室メロン農家などを周り、夕方、伊良湖岬の砂浜にテントを張り、次は、夕食の準備で、まだ、砂利道の坂を自転車ですり出し

朝の体操 (伊良湖岬で)



渥美農業高校を出発

す。もう少し、子、孫たちを見守りながら、未来をみつめたいと思います。後日、ご子息と電話で話していて、「おやじの分まで、長生きして」の言葉が、琴線に触れ涙しました。ご冥福をお祈りすると共に、今も敬愛して止みません。最後に記念誌の伊達先生の言葉をお借りし、農芸高校に永久の栄光あれと祈念します。

同窓会のご報告

大橋 徳紀
(高校第十回・昭和三十三年卒)

平成二十六年二月二十八日農芸高校に校名変更されて第三回目の卒業生(昭和三十三年三月三日卒業)の三友会(卒業三十周年記念に校庭に「校章碑」を建立した)の同窓会が恩師の野呂巽先生と下井治子先生を迎えて会員三十六名が出席し

平成二十六年二月二十八日農芸高校に校名変更されて第三回目の卒業生(昭和三十三年三月三日卒業)の三友会(卒業三十周年記念に校庭に「校章碑」を建立した)の同窓会が恩師の野呂巽先生と下井治子先生を迎えて会員三十六名が出席し



様々な学習成果や取り組みから

【農業学科】

平成25年度造園デザインコンクール
第40回全国造園デザインコンクール商業施設部門
佳作 3年 平田 美友

第23回高等学校生徒造園デザインコンクール公園部門
知事賞 3年 市川 祐二
教育長賞 3年 小林 進哉
教育長賞 2年 水谷 聡汰

平成25年度危険物取扱者資格 乙種全類取得
3年 近藤 聡将、2年 後藤 幸希
平成25年度三重県技能競技大会
知事賞 2級造園工事 3年 田中 叶人
知事賞 3級室内園芸 3年 平あすか
知事賞 3級フラワー装飾 3年 石井 沙希
知事賞 3級造園工事 2年 福迫 昌希

平成26年度全国産業教育フェアフラーアレンジメントコンテスト三重県予選
最優秀賞 3年 水谷 真菜
平成26年度農業クラブ意見発表東海ブロック大会
優秀賞(食料・生産) 3年 山下 雄大
「山下農場長を目指して」(県大会最優秀)
優秀賞(文化・生活) 3年 黒田 理紗
「お茶の里に生まれて」(県大会最優秀)

平成26年度第65回日本学校農業クラブ全国大会(10/21・23沖縄大会)
農業鑑定競技
優秀賞(区分・農業) 2年 妹尾 英紀
優秀賞(区分・造園) 3年 寺本 郁哉
平成26年度第42回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催、農林水産省他後援、J-A全中など協賛)
高校生部門 地区入賞 3年 桜沢 貴也
高校生部門 地区入賞 3年 西原 夏歩

平成26年度産業教育に関する研究文・作文コンクール
研究文 農業部会長賞 食品科学コース 3年 後藤 幸希、ほか7名
作文 優秀賞 3年 芝田 優
平成26年度技能五輪全国大会出場
造園競技 3年 造園技術コース
福迫 昌希、水谷 聡太



地域の人々と一緒に特産のマコモを収穫(販売情報コース)



河原田小学校児童と一緒に稲刈り(生産系)



平成25年度技能五輪全国大会で課題庭園を製作する出場生徒(造園技術コース)

【家庭学科】

平成26年度第25回きもの作品コンテスト
優秀賞(近畿経済産業局長賞)
平成26年度三重県おさかな料理コンクール
三重県水産物消費拡大促進協議会主催
アイデア賞 2年 本村 奏海
入選 2年 糸川 元菜

平成26年度家庭クラブ研究発表大会
スクールプロジェクト 最優秀賞(平成27年度家庭クラブ連盟全国大会出場決定)
テーマ:「FUTURE SUPPORT」
安全確保!!農芸生いざ出勤!!
平成26年度食肉惣菜創作発表会 ミーテリカコンテスト 県食肉事業協同組合連合会主催
最優秀賞 3年 野田 千安希(ギャラリー賞同時受賞) 東京開催の本選出場決定
努力賞 3年 荒木 安菜
入選 2年 加藤 沙紀

平成26年度第6回かむかむクッキングコンクール
優秀賞 3年 一丸 恵美
優秀賞 3年 山田 真綾

【第5回高校生スイーツコンテスト】

NPO法人クロスボイント主催

優秀賞 2年 伊達 夏南、東 真優
(デザイン賞同時受賞)

特別賞 2年 矢田 琴音、松井 奏実
(ストーリー賞同時受賞) 商品化検討作品
第7回おいしい笑顔! 野菜レシピコンテスト 愛知文教女子短大主催
東海農政局長賞 2年 林 恵里奈
みえテクノエイドセンター主催
三重テレビ放送賞 3年 稲生 紗也

小学生にお菓子作りを指導(食物経営コース、製菓衛生コース)



地域の行事に参加し、生徒が考案したゲームをして交流(生活福祉コース)



第25回きもの作品コンテストで優秀賞(近畿経済産業局長賞)を受賞した伊藤華織さん(服飾経営コース3年) 中日新聞社提供

【普通教科及び全校の取組】

第60回青少年読書感想文

優秀賞 2年 伊藤 悠衣、北澤 恵里花
ハイスクールサミットin東北へ三重県代表として参加
3年 近藤 啓太、2年 シュリアーノ 静花

【全国大会】

アシックスカップ2014第1回全国高校7人制ラグビー大会
予選リーグで坂出第一(香川)に勝利



全国高校7人制ラグビー大会に出場したラグビー部

【東海大会】

平成26年度東海高等学校総合体育大会
ラグビー部 出場
女子バレー部 出場

【三重県大会・地区大会・その他】

平成26年度三重県高校総合体育大会
準優勝 ラグビー部(東海総体出場)
3位 女子バレー部(東海総体出場)
3位 柔道女子52kg級 2年 佐藤 岬海
3位 柔道女子52kg級 1年 小竹 日菜
4位 ゴルフ競技女子個人 1年 名和 良枝
優秀賞 山岳部
アシックスカップ2014第1回全国高校7人制ラグビー大会三重県大会
優勝 ラグビー部(全国大会出場)
平成26年度三重県高等学校バレーボール優秀選手
女子バレー部
3年 辻 怜奈、井口 楓、江藤 葵
第61回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会(全国出場作品を除く)
奨励賞 朗読部門 3年 李 模一
奨励賞 朗読部門 1年 平川 恭介
第59回三重県高校演劇大会
優良賞 演劇部(北勢地区大会優秀賞)
第36回東海地区高校商業実務総合競技大会三重県予選
英文フープロボットの部 第5位 情報処理部
バレーボール三重県高校選手権兼全日本高校選手権予選
ベスト4 女子バレー部
第94回 全国高校ラグビー三重県大会(花園予選)
準優勝 ラグビー部

進路指導部より

進路指導部 主任 城 秀教

同窓会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度(平成25年度)卒業生の進路状況についてですが、就職斡旋の職業別では生産工程・労務の職業に80名、サービスの職業に36名、販売の職業に18名、事務的職業に6名、農業等専門の職業に6名でした。他、公務員や自営等を含めて161名が就職しました。進学では四大に15名、短大に13名、専門学校等に38名という結果でした。

昨年度は、リーマンショックで半減した求人数も徐々に回復の兆しがみられ、又同窓会員の皆様方のお力添えもあり、就職希望者全員が内定をすることができました。本当にありがとうございます。

1. 5倍増となりました。特に求人数を増やした職種をみると介護・接客(飲食)・美容職などのサービス職と運輸・物流・土木建設関連です。本校の多くの生徒が希望する製造業等の求人数はあまり大きな変化はみられない状況であり、高校生の就職を巡る状況は依然厳しいままであるとも言えます。最近報道された不安定な経済状況も心配されるところです。お蔭様で現時点で就職希望者のほぼ全員が内定をいただいています。今後も全ての生徒が卒業までに進路先が決まるよう努力し指導していきたいと思います。その際には、同窓会員の皆様方のご支援を賜りたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

昨年度の進学においては、ほとんどがAO入試や推薦入試制度を利用しました。三重大学生物資源学部への合格をはじめ専門分野へ多く進学しました。ラグビー部、バスケットボール部のスポーツ推薦を利用する生徒も増えています。

一方、2年生全員で実施している職場体験(インターシップ)は3年目になりキャリア教育をすすめる上で、就職進学希望に関わらず働くことの意義、勤労観や職業観が養われています。同窓会員の皆様の職場でも大変お世話になってます。

これからも本校の発展のためにご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



事務局からのお知らせ

◆ 会員、旧職員の皆様へご連絡とお願い ◆

☆改名、転居などにより、氏名・住所・連絡先等が変更になりましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。お預かりする個人情報は、厳正に同窓会事務局で管理を行い会報発送等に使用いたします。ご協力をお願い致します。

☆同窓会又は同窓会事務局の名を語って、電話等により会員の情報を聞き出そうとする事案が発生しております。同窓会からの電話調査や聞き取りは、一切致しておりませんのでご注意ください。

◆ 会員のみなさまより会報の原稿を募集しております ◆

同窓生の皆様より、会報原稿をお寄せ頂いております。次号会報、原稿も募集しております。会員唯一の情報機関誌へ会員みなさまの「高校時代の思い出、近況報告、写真」等をぜひお寄せ下さい。(次号会報の原稿締切は、平成27年9月末日です。ぜひ事務局まで。)

三重県立四日市農芸高等学校 同窓会事務局

〒510-0874 四日市市河原田町2847

TEL 059-345-5021(代)

FAX 059-345-6996

ぜひ!ご利用ください

＝農産物(実習製品)販売所のご案内＝

農芸高校では、生徒の実習成果による農産物(実習製品)を校内で販売しております。(季節によって、新米、野菜、卵、草花、観葉植物、ジャム類、味噌など)

販売場所: 農業理科棟(新館)1階中央の販売所

販売日時: 毎週月曜日と木曜日(午後2時～4時まで)

*学校行事等で休みとなる場合もありますので、お越しの際は、学校ホームページまたは、学校までお問い合わせください。

待望の

新鶏舎完成!

コンパクトな施設に近代的な設備を導入した見本鶏舎

